

様式第3号

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)		平成21年度 第8回 川西市社会教育委員の会		
事 務 局 (担 当 課)		教育振興部 社会教育室 (内線 3421)		
開 催 日 時		平成22年2月24日(水) 9時57分～12時00分		
開 催 場 所		川西市役所 地下1階 B01会議室		
出 席 者	委 員	生田議長、小柳副議長、佐道委員、渡邊委員、末澤委員、 眞田委員、野原委員、廣末委員 計8名		
	そ の 他			
	事 務 局	牛尾教育振興部長、後藤こども部長、松岡教育支援室長、 谷社会教育室長、渡瀬中央公民館長、小田中央公民館主幹、 宮脇社会教育室主幹、片山主任 計8名		
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	1名
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由				
会 議 次 第		1. 報 告 (1) 平成21年度阪神北地区社会教育委員協議会第2 回研修会について (2) その他 2. 議 題 (1) 会議録の承認について (2) 年間テーマ 「地域教育の向上をめざした仕組づくり」 ～人のでつながる場づくり～ 3. その他		
会議結果		別紙のとおり		

議長	第8回社会教育委員の会を開会する。
事務局	挨拶
議長	<p>1. 報告</p> <p>(1) 阪神北地区社会教育協議会 第2回研修会について 平成22年2月9日(火)午後1時～ 議長、副議長、A委員、F委員より報告</p> <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館のアスベスト除去工事について 事務局より報告 ・教育委員会だより及び青少年センターだよりについて 事務局より報告
副議長	ホームページ以外で、教育委員会だよりや青少年センターだよりは、どこで入手できるのか。
事務局	<p>青少年センターだよりは、各補導員さんに配布させていただいている。自治会によっては、回覧していただいている地域もあります。</p> <p>学校等の関係機関にも配布させていただいております。</p>
議長	学校等の関係機関以外で、公民館等で一般用に配布されているのか。
事務局	<p>公民館も配布しておりますが、一般の方につきましては、ホームページで見ていただいております。</p> <p>市議会にも配布しております。</p>
議長	<p>オールカラーで作成されていますので、一般市民の方にもとなると大変かなと思いました。</p> <p>議題に入る。</p> <p>(1) 会議録について、承認を頂きたい。(全員承認)</p> <p>(2) 年間テーマ「地域教育の向上をめざしたしくみづくり～人をつながる場づくり～」について、</p>

この一年間論議してきたことを文章の形で総括し、教育委員会に報告したい。

社会教育委員の会は、提言を求められていないので、自主的にテーマを決め、論議し、その結果を教育委員会に報告し、参考にしていただきたくという方針で進めてきている。

個人的に、今までの議事録を精査し、原案を作成しましたので、委員の方に追加削除をお願いしたい。

構成は、1枚目がふりかえりで、2枚目がまとめになっており、第1回から第7回目の論議を纏めてみた。

5月にテーマを、「地域教育の向上をめざしたしくみづくり」とし、サブテーマを「人でつながる場づくり」にした。

6月には、学校支援地域本部について、事務局から報告を受け、各委員からの意見や思いを述べていただいた。

学校教育を視点に入れて論議し、地域の人がどのように学校に関わっていけるのか。学校内での活動について、児童生徒と活動する際の管理責任はどうか。

コーディネーター等の必要性や、その人たちの育成が求められる、と論じた。

学校支援地域本部の目的の部分で、地域の人材を生かし、教科学科の向上等を論じたと思う。

7月は、実際に地域教育の向上、場づくりの視点で、各社会教育施設の状況の報告を受け、意見交流を行った。

10月は、学校に地域の人がどのように関わっているかの事例を聞くとともに、青少年ふれあいデーの制定の報告を受けた。

論じたのは、地域のいろいろな人材等を活用した地域教育や、各諸団体の活動実態の中での情報交換を行ったと思う。

11月は、阪神北地区社会教育委員協議会研修会で、川西市の取組みについて、市内の3グループの紹介を通じて開催運営することを論じた。

1月は、学校支援の在り方や、社会教育委員として地域教育をどうとらえるかなどを述べてもらった。

その後、教育委員との懇談を行った。

「まとめ」について、「学校の現状」、学校教育にあっても、地域の教育力の結合なしには困難が大きくなっており、より一層地域の協力ならび支援を受けることにより、学校教育の充実を図ることが重要です。

・場を支える人材育成支援

文科省、県、市の施策のもとで、地域子ども教室、学校安全協力員、学校支援地域本部事業などに多くの市民の関わりがありますが、特に学校支援地域本部事業についてはコーデ

イネーター・リーダーの必要性と継続していくためには人材発掘並びに育成が求められ、各中学校区を一つの核として、地域コーディネーター・リーダーの配置を通して継続するためのシステム、ファンドづくりが求められ、学校においては、地域との連携を進めるためには校長などのリーダーシップが求められています。

・地域住民が協力するメリットと課題

地域の学校は地域で守り、地域で育てていく思いを核にして、住民の連携につながる営みは、地域教育の大切なポイントであります。

学校は、総合学習の時間などで専門的支援を受けられ、子ども達は、部活動等で幅広い経験が出来、また地域の人たちの学校等への関心が高まります。

課題として、責任の法的所在確認の問題や、地域コミュニティ・公民館グループ・ボランティア・NPOなどと連携をはかり学校内外で子どもが参加できるプログラムを考えることも大切です。

地域で家庭を支援する。

学校の思いを伝えるには、より一層の学校の取り組みを地域に情報発信され、地域との連携を図り、場づくりの取り組みは継続的な支援につながります。

・社会教育施設の活用

川西市においては、10館にわたる公民館・図書館・生涯学習センター・体育館をはじめスポーツ施設・郷土館・文化財資料館・美術館等々があり、体育・文化の学習、市民活動の拠点として場の提供ならびに共に新しい出会いのもと、各世代の交流を生み、生きがいつくりと共に地域づくりを充実させるものとしての活動をさらに期待いたします。

「最後に」

地域の学校支援体制のさらなる充実を願うなか、コーディネーター役の人材の拡充を図り行政としての支援体制の充実を具体化されたい。

学校教育にあっても、社会教育にあっても人と人のつながりは、地域教育力を高めるには、機会の場づくりの取り組みは重要でありさらなる仕掛けづくりに取り組む必要が求められます。

社会教育のはたす役割は大であり、学校とも連携しながら、地域のすべての人がこの町に住んでよかったと思う町づくりに、各社会教育委員として職責をはたし繋げていきます。

これは、叩き台ですので、それぞれ、手を加えていただきたいと思う。

副議長	<p>私が提案しましたので、進行は、副議長にお願いします。</p> <p>振り返りについては、第1回の会からまとめていただいておりますが、抜けている項目等がないか。</p>
議長	<p>このような纏め方でよいか。</p> <p>事務局から提出を求められているわけではないが、文書で残しておいた方が事務局も参考になると思う。</p> <p>議事録もあるが、文書で残して、教育委員会に置くのがいいと思う。</p>
副議長	<p>会議録を見ていただいて、追加項目がある場合は、事務局に連絡して下さい。</p> <p>まとめについては、よく出来ていると思う。</p>
議長	<p>個人的な私見も入っていると思うので、遠慮なく言って下さい。</p> <p>全体で纏めるのではなく、各委員さんが1ページ分を記載し、提出している市もある。</p>
副議長	<p>提案ですが、各委員が気づいた課題や感想を書くのもいいと思う。</p> <p>社会教育委員の会は、全体の会ではなく、各委員が教育委員会に提言できる立場です。</p>
議長	<p>今、副議長から提案のあったことについて、議長の責任として全体の分は、このように纏めたのですが、この会は、各委員が独自で権限を持たれているので、一人ひとりの委員が意見を纏めて教育委員会に提言するのが本来です。</p> <p>各市の状況は、会として纏められている所と一人ひとりで出されている所と半々で、この纏めとは別に、各委員さんが社会教育の視点で書いていただいたものを合せて提出する方法もあるがどうか。</p>
C 委員	<p>自分の考えを纏めるのは大変な作業と思うが、個々の立場でこの会に出席している。</p> <p>学校関係者と、私のように学校に縁の少ない者とは、考え方が異なると感じていた。</p> <p>学校から離れているので、情報も少なく、学校の現状は、私の思っているのとは、異なっていた。</p> <p>各自が自分の立場で残すのはいいと思う。</p>
F 委員	<p>会の当初は、どのような発言をしたらいいのかなと思いな</p>

	<p>がら、自分の学校で主に行っていることや、どのように繋がりを持っているのかを話した。</p> <p>ただ、市内全体でどのような方向付けを行うのかは、具体的には浮かんでこない。</p> <p>他の学校の校長先生との話で、学校によって実情がまったく異なるのが分かるので、非常に難しく、市全体として、方向性がはっきりとさせられるのは、一助としては、それぞれの委員の思いが大事と思う。</p> <p>学校の関係では、部長より、小中の連携、中学校区の連携が大切といわれ、隣の池田市では、教育特区の指定を受け、平成24年度から全中学校区が小中連携のカリキュラムを組んでやる。</p> <p>川西市でも、その辺を模索し、兵庫県の教科担任制度の入れていく方向性もあり、大きな枠を変えることによって、地域の方が何か手伝えるのではないかなど、思っていたけるのが増えるのではないかと思う。</p>
E 委員	<p>この1年間は、自分の立場とこの場所との違いを感じながらやってきた。</p> <p>この場所は、大きなグラウンドに多くの要素を入れて、一つの道を描いていく感じがするが、我々の日々の生活は、山道を駆け落ちないように舵を切っているのが現状である。</p>
議長	<p>学校現場との、ギャップがあるが、そのギャップを克服していけないと学校との連携が上手くいかない。</p> <p>その部分を問題提起して、書かれていることが大切と思う。</p>
E 委員	<p>議論の中で、地域を纏めていく方向性は、学校にとって重要なポイントだと良く分かったし、如何に地域と関わっていくかは、必要だと思う。</p> <p>アメリカは、スクールポリスが学校の中に入り、治めている状況があり、そういったことを考えたこともあるが、日本の土壌はそうではなく、上手く人間関係の中で、地域そのものを育てていく方向性がある。</p>
議長	<p>社会教育委員の立場で、学校長の立場も含めて、纏めていただいたらいいと思う。</p>
D 委員	<p>まとめは、議長が書いていただいたものと同じことを書くと思うが、自分の思いを書けたらと思う。</p>
B 委員	<p>難しく考えないで、1年間を振り返って、委員としての思</p>

A 委員	<p>いを報告するのでいいと思う。</p> <p>拙くても思いを伝える意味では、書かせていただくことは出来ると思う。</p> <p>E 委員が話された、スクールポリスの話があったが、そこまでいく前に、地域に話をしてほしい。</p> <p>地域の住む者としては、そのような状態になる前に何か手伝ってと言って欲しい。</p> <p>批判ではなく、先生の大変さを想像し、理解して行こうとする方向になっていけばいいと思う。</p>
B 委員	<p>E 委員は、校長として日々悩みが大きいと思うが、問題がある学校には、それなりの人材と評価し配置していると思う。</p> <p>悩みがある学校だと思うが地域と一体化することによって、先生方の気持ちも理解してもらっていると解釈したらいいと思うし、そのために、色々な意見を交換している。</p> <p>それぐらいの気持ちでやって欲しい。</p>
議長	<p>書く視点は、各委員の立場で、川西市の社会教育の充実を狙いに沿って提起をしていただくので、自分の経験や、思いなどを書いていただいたら非常に参考になると思う。</p> <p>特に学校教育は、大変だと思うし、子どもの実態に合わせて、行政が学校に対して、どのように支援をしていくのかも、校長独自で発信する部分とは別の捕らえ方を、事務局がしていただけたらと思う。</p> <p>提出は、3月の末までに、字数制限はなしで、A4に1枚以内でお願いしたい。</p>
副議長	<p>纏める都合もあるので、期限は、3月17日までに事務局に、メールまたはFAXで送信をお願いする。</p> <p>全体としての纏めは、議長案を基本にさせていただきたいが、「学校の現状」「場を支える人材育成への支援」「地域住民が協力するメリットと課題」「社会教育施設の活用」の4つのポイントに向けて書いていただいているが、まず「学校の現状」については、追加などないか。</p>
議長	<p>地域教育力に焦点を合わせた話ですので、学校と地域との連携が大切だと言うことであつた。</p>
D 委員	<p>これでいいと思います。学校教育の現状となると、この場に校長先生が2名入っていただいているが、他の学校もあるので、細かく記入するのはどうかと思う。</p>

副議長	<p>地域教育力を論じたのであって、学校の現状を論じたのではない。</p>
D 委員	<p>学校によってどの程度地域教育力を必要とするかは、判断が出来ないと思うので、地域との連携が必要との記載があればいいと思う。</p>
議長	<p>「場を支える人材育成への支援」について、行政に要望も必要と思うので、コーディネーターの必要性、継続、人材発掘ならびに育成が求められることがポイントだったと思う。</p> <p>それにつきまして、学校支援地域本部にしても、ボランティアにしても、それに対する支援策を具体的に挙げてないが、コーディネーターを育てて定着していくための経済的支援、具体的には予算化を考えてほしいと記入すべきかを悩んでいる。</p> <p>この前の研修会で、学校との関連で、パネリストから学校の熱意が伝わってこないとだめだと発言され、教育現場への地域からのメッセージとして重く感じた。</p> <p>経済的支援、予算化をとったが、どうか。</p>
B 委員	<p>行政サイドから見れば、充実と言われても具体的に何をしたらいいのか分からないので、費用面とかを具体的に記載した方が良く思う。</p>
議長	<p>予算化を図りたいと記載した方がいいか。</p>
副議長	<p>費用的なことを記載したほうが良いと思う。継続するためのシステムとして、ファンドづくりとして、市民の中での人的支援と寄付等の支援も記載しておりますので良いと思う。</p>
議長	<p>ファンドづくりが求められる。育成が「求められます」の部分については、継続が出来るような予算化を図りたいと言う事を纏めの中に強調して入れたいと思う。</p> <p>特に各中学校区を核としての部分をもう少し強調し、行政がやろうとされている部分のコーディネーターにしても、市民団体と連携についても、予算化が継続の一つのポイントになっていくので、人の部分だけではなく、裏づけの部分も明示することにしたいと思う。</p>
副議長	<p>パネラーの発表の中に、都市計画課の町づくり支援助成を受けての活動の展開が、環境体験学習のプログラムとマッチして展開していたのが、その情報提供のことをこの項目でも</p>

<p>議長</p>	<p>記載した方がいいと思う。</p> <p>情報発信については、平成20年度に教育委員会には、一つの項目として報告した。</p> <p>改めて情報発信については、もう少し強調する方向でよいか。</p> <p>数年前から情報発信され、成果も出来ているが、前回のパネラーの話を知っていると、教育委員会以外の情報も求めておられ、届かない部分もあるので、行政に工夫してほしいと記載する。</p>
<p>副議長</p>	<p>次に、「地域住民が協力するメリットと課題」については、昨年と同じ項目になっていると思う。</p> <p>場を支える人材育成の支援は、行政の方への依頼の側面があると思うが、この項目は、住民として地域の者がどのように動いていった方がいいかを住民からの視点で考えたかどうか。</p>
<p>議長</p>	<p>住民の視点に立っているつもりでしたが、学校中心の発想に偏っていた。</p> <p>総合的学習の部分や、部活動の部分をカットし、ミュージカルをされた方については、公民館活動の出会いの場から発展したことの例であり、地域住民との出会いの場の大切さを纏める。</p>
<p>副議長</p>	<p>そうしましたら、この部分は、住民への提案と言うことで。</p> <p>次に、「社会教育施設の活用」では、公民館、生涯学習センター、図書館から報告を受け、私たちが気づいたことや提案などを記載したらいいと思う。</p> <p>議長は、それを纏めていただいているので、これでいいと思う。</p> <p>「最後に」の部分では、議長が私たちの思いと決意をきちんと纏められている。</p>
<p>議長</p>	<p>後は、個々に書いていただく部分で、攻撃ではなくて、委員として出していただけたらと思う。</p> <p>事務局サイドでご意見はないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>このような纏めを社会教育員の会から出していただき、即22年度については、難しいが、一つでも生かしていけることがあれば繋いでいきたいと思う。</p> <p>社会教育委員の会を社会教育室だけで担当しているが、公</p>

事務局	<p>民館や図書館、生涯学習センターとも連携を取り、社会教育に関する施策を進めていかなければと思う。</p> <p>先ほどからコーディネーターの話がありましたが、青少年支援課が持っている、放課後子ども教室にもコーディネーターが付かれて、学校支援地域本部のコーディネーターが制度的に輻輳しているのかなと思う。</p> <p>以前の上杉先生の各公民館にコミュニティーワーカーを置きなさいとの形で、予算化を要求されていたが付かない経過もあった。</p> <p>制度が非常に輻輳していて、学校支援地域本部で学校の先生が子どもと向き合う時間を多くするために、地域の支援が必要ですが、非常に多くのメニューがありすぎて、それを上手く活用するのではなく、消化しているのが現状かなと思う。</p> <p>この1年間、協議をやっていただいて、社会教育委員さんの役割や責務など、何をどうやっていただいたら上手くいくのかなとの思いを持ちながら議論を聞かせていただいたので、次年度には繋げて生きたいと思っている。</p> <p>大きな関心は、学校教育と社会教育の連携で、社会教育で学ばれた成果を学校教育の支援に持って行っていただき、それが繋がっていけば、子育てにも繋がっていくのかなと思う。</p> <p>社会教育委員さんにも色々な意見を言っていただき、事務局も各所管が出てきていただき、意見を聞き、各所管に持って返って、それを生かしていただければと思う。</p> <p>横の連絡も子ども部長も常に出席いただき、教育委員会と市長部局との繋がりも、この委員の会がなければ、連携協議できていけない部分もあったので、この社会教育委員の会も役割を果たしているのではと思う。</p> <p>E委員も忙しいところ出てきていただいて、協議に参加していただいて、どちらかと言うと学校教育現場を知らない者が社会教育をやっているのが、学校教育と社会教育の融合とか連携とか言われても何をしたら良いのか分からないのが実情だったので、その点では、私自身は勉強になりました。</p> <p>「社会教育施設の活用」につきましては、議会からも話があり、地域資源を活用した地域おこしの話が出た。</p> <p>7つの中学校区で子ども達の全国学力調査の中で、地域歴史や自然、文化については意識が比較的低いことが分かった。</p> <p>それに対応するため、各公民館で地域の文化や歴史を活用した親子の講座等の拡充の検討も必要と思う。</p>
-----	--

議長	<p>今、事務局よりの話があった意味もあるが、議長として学校との連携の部分で活用できないかと考えていた。</p> <p>公民館サイドの活動では、地域の協同について学習部分については、シリーズ的に多くの講座があり、成人向けの講座は、充実しているが、事務局内部の連携不足により、公民館講座などを学校教育で十分に活用出来ていないのではないかと思います。</p> <p>学校では分からない部分等があるので、事務局がもっと関心を持ち企画する必要があると思っています。</p> <p>学校は、次々と要求があり、その部分を整理しないと、学校現場が忙しくなるので、そうでない方向で新しいファンドを作っていく努力する必要があると思う</p> <p>我々は、次年度も、前向きな形の中で期待したいと思っている。</p>
事務局	<p>小学校3、4年生は、総合学習の時間に社会教育施設など行っているのので、公民館でも、地域の子ども達講座を通して自分の地元を知る部分に力を入れたいと思う。</p>
議長	<p>公民館は、新しいセミナーを企画されていますので、お願いしたいと思う。</p>
F 委員	<p>緑台公民館は、公民館活動の一環として、子ども達を集めて、色々な物づくりや生物観察など、色々な学習を取り入れてされているので、その辺で連携は出来ていると思っている。</p> <p>ただ、問題は跡継ぎで、今中心に活動している方が、自分の後がないことが大きな問題だと思う。</p> <p>本校は6年間、地域の方々に講座をもっていただき、わくわくクラブの課外事業をやっているが、当初は、放課後子ども居場所作り推進事業の指定校を受けたのがきっかけで、その前の母体を発展させることになった。</p> <p>最初は、そのような後押しからスタートをし、色々な成果があった。</p> <p>子どもが色々な力が付けていくことが、来て頂いている方の最大の励みであったと同時に、地域の方々が、子ども達に関われる場を作っていただいていたと言われる。</p> <p>コーディネーターさんは今は無償で続けていただいている。</p> <p>これも、後継ぎを何とかしなければと思っている。</p> <p>学校支援地域本部事業も後一年で補助金が切れるが、実際に登録された方々が学校に出向いて来られるのはまったくの無償である。</p>

<p>議長</p>	<p>子ども達の学習したプリントを採点していただくのに6人ぐらい来て頂いているが、全部他校区の方である。 登録をしても一つも声が掛からなかったが、よく呼んでいただいたと、本当に嬉しいとの気持ちで来られている。 最初の後押しは予算化が大事だろうと思うけど、後、それが上手く回転していったらそれどころではない。 無償でもどんどん行きますよ。コーディネーターもやりますよと、なってくると感じているが、最初の後押しのところはまったく同感だと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>最後に事務局から何かありますか。</p>
<p>議長</p>	<p>社会教育法に基づき、社会教育団体に対する補助金の承認頂きたい。社会教育室所管では昨年と同額で、川西市婦人会9万円、川西ユネスコ協会9万円、川西市PTA連合会28万3千円、幼稚園PTA連絡協議会4万5千円を計上し、議会に予算を提案している。（全員承認）</p> <p>今日の部分については、次回の公民館運営審議会で承認を得たいと思う。 以上で閉会する。</p>